

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいる・ステップ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、全職員が参画しています。また、PDCAサイクルの回転が早いことが強みです。	毎日の朝のミーティング時に、昨日の設定活動や子供たちの遊びの様子を振り返り、改善点を話し合いすぐに改善するようにしています。	さらに毎朝の打ち合わせの中で、今日の利用児童の個別支援計画を読み、どこをポイントにして支援するのか、職員全員が確認をして発表を行うようにしました。常に個別支援計画を念頭にした支援を行うなかで、支援の振り返りと改善を充実させていきます。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげています。チームワークがよく、風通しのよいチームです。	「まずはやってみよう」「いい物はどんどん取り入れよう」をモットーにして、職員から出たアイデアはすぐに導入して実践するようにしています。	法人内の他の施設の取り組みも共有し、良い取り組みを取り入れていきたいと思っています。
3	利用児童の過ごす発達支援室が二部屋あることで、子供達の発達や相性等を考慮して安心できる環境を整えられています。	設定活動は子供達の発達に合わせた内容になるように、二つのパターンを準備して行っています。そのうえで、さらに個別配慮を考慮した支援を目指して工夫をしています。	部屋の環境設定に関しては、子供たちの様子にあわせて都度変更しながら最適な環境を整えていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会がありません。	保護者からも職員からも必要がないのではないか、難しいとの声があります。	まずは地域の店舗利用やボランティア団体の受け入れをさらにすすめていきたいと思っています。そのうえで、通所されている利用児の兄弟(中学生以上)に来ていただき、施設と一緒に遊ぶ機会を検討していきます。
2			
3			